

附属札幌中学校「学校だより」

# 藤 房

北海道教育大学  
附属札幌中学校

令和8年3月25日発行

No.13

## 人と人をつなぐ言葉と情報

### — 東日本大震災を知らない世代へ —

学校長 菅原 利晃

2025年度も終わりを迎えようとしています。

この1年を振り返りながら、生徒一人一人が自分の成長を確かめ、新しい年度に向けて新たな目標をもって歩み始めてほしいと願っています。

さて、本日の修了式では、「SNS」「言葉の使い方」「情報の扱い方」について話をしました。

ご存じの通り、オーストラリアでは、2025年12月から世界で初めて16歳未満のSNS利用を禁止としました。同様のことは、EUをはじめ、世界各国も検討が始められています。

昨年11月に行われた、卒業生・第3学年の総合的な学習の時間においても、SNSやスマホ、情報リテラシーについて11名が課題としてとりあげて探究に取り組んでいました。

ところで、今から15年前の2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。大きな地震と津波により、多くの尊い命が失われました。

その混乱の中で、一人の中学生の行動が後に話題となった出来事があります。

地震発生から約17分後、広島県にいた当時14歳の中学生が、テレビに映っていた津波警報の画面をスマートフォンで撮影し、インターネット上で配信したというものです。

この出来事については、詳しい経緯や真偽について不明な点もあると言われていますが、混乱する状況の中で、「これを見て誰かが逃げてくれたら」という思いから行動した若者の姿として紹介されることがあります。

当時は、中学生がスマートフォンを持つことはまだ珍しく、SNSも現在ほど広く普及していませんでした。それでも、その情報は人から人へと伝わり、多くの人がインターネットを通して震災情報を得るきっかけの一つになったとも言われています。

この出来事から、SNSの本来の役割について改めて考えさせられます。

SNS、情報、言葉の本来の役割は、何でしょうか。

それは、人と人をつなぐことです。

SNS、情報、言葉は、人と人をつなぐための道具です。



誰かと瞬時に情報を共有すること。  
遠く離れた人に大切な情報を届けること。  
困っている人を支え、あるいは支える人をつなぐこと。

こうした働きが、本来の SNS、情報、言葉の力であると言えるでしょう。  
一方で、SNS 情報、言葉は使い方を誤ると、人を傷つけたり、誤った情報を広めたりしてしまうこともあります。だからこそ大切なのは、「何を発信するか」だけでなく、「どのような思いで発信するのか」ということです。

今学期、今年度が終わります。

どうかこれからは、自分の言葉や行動が、人と人をどうつないでいるのか、少しでもいいので考えてみてほしいと思います。

生徒の皆さんが社会の一員として自覚をもち、言葉や情報を大切に扱いながら、人と人との関わりの中で成長していくことが大切です。SNS や言葉、情報というものを、人と比べるための道具ではなく、人を支え、社会とつながるための道具として使えるような人になってほしいと考えています。

中学生であっても、社会と関わり始めることができます。

自分の言葉や行動が、誰かとつながり、社会の中で意味をもつことを感じながら成長してほしいと願っています。

本校では、人との関わり、集団や社会との関わりを大切にしながら、生徒が自分自身の成長と集団の成長を実感できる学校生活を目指しています。ご家庭と学校が同じ願いを共有しながら、子どもたちの成長を支えていくことができればと考えております。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ■離任する教職員からの言葉

3月をもちまして、以下の教職員が本校から転出・退任することとなりました。離任する教職員からの言葉を紙面にて紹介させていただきます。

岩淵 浩憲 副校長	(3年)	札幌市立新琴似中学校へ
柏 敬太 教諭	(英語科・12年)	札幌市立前田中学校へ
田口 祐弥 教諭	(社会科・8年)	札幌市立南が丘中学校へ
仲鉢 大地 教諭	(理科・5年)	札幌市立白石中学校へ
ゲッツ 秀子 講師	(英語科・9年)	ご退任
小林 和久 講師	(社会科・2年)	ご退任
土井 知也 講師	(理科・1年)	札幌市立東月寒中学校へ
横田 尚也 講師	(特別支援・2年)	北海道江差高等学校へ
芦田 燎 講師	(特別支援・2年)	東京都青梅市立第一中学校へ
木下 知紀 講師	(特別支援・1年)	石狩市立花川北中学校へ
大坂 紘子 特別支援教育相談員	(3年)	ご退任
高橋 里美 校務補	(ふじのめ校務補・5年)	ご退任

#### 岩淵 浩憲 副校長

このたび、附属札幌中学校を離任することとなりました。これまで本校で大切にしてきたのは、互いの考えを尊重し、問いを共有しながら深く学び合う姿です。日々の授業や行事を通して、生徒一人一人が仲間と関わりながら自らを高め、確かな成長を遂げていく姿に、私自身も多くの学びをいただきました。温かく学校を支えてくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。今後の生徒のさらなる飛躍と、皆様のご健勝をお祈りいたします。

#### 柏 敬太 教諭

この度、附属札幌中学校での勤務を終え、異動する運びとなりました。保護者の皆様には、多大なる御支援と御協力をいただき、誠にありがとうございました。花壇や校内の細やかな環境整備、藤華祭での笑顔が生まれるバザー、進路について真剣に向き合う機会となる私立合同説明会、出合いや卒業を彩る広報誌、毎年多くの学びを得られる文化講演会、インタラクティブボードをはじめとした子どもたちの学習環境整備、教育研究大会での受付や駐車場整備。附属中学校での12年間に及ぶ学校生活を振り返ると、子どもたちのよりよい成長のために、数えきれないほどのサポートをしていただきました。そして、そのようなあたたかな「共に子どもたちの成長のために」という思いをもつ保護者の皆様に支えられ、私自身、人として成長することができました。今後も、附属札幌中学校が「学び合い」あふれる学校として、一層発展することを願っております。本当にありがとうございました。

#### 田口 祐弥 教諭

この度の人事異動により、8年間過ごしたこの学び舎を離れることとなりました。附属中での日々を振り返り、真っ先に思い浮かぶのは、皆さんが仲間との「学び合い」を何より大切にする姿です。私自身、皆さんと共に授業を創り上げる時間に、教師としての大きな喜びを感じていました。特に、自ら情報を収集・分析し、対話を通して納得解を導き出す姿には、何度も目を見張るものがありました。その真摯な探究心から、私の方が学ばせていただくことばかりでした。どうかこれからも、その姿勢を大切に歩いていってください。保護者の皆様、地域の皆様、温かく支えてくださり心より感謝申し上げます。新天地でもここでの学びを糧に精進いたします。皆様、どうぞお元気で。

#### 仲鉢 大地 教諭

附属札幌中学校に赴任して5年、本当に多くのことを経験させていただきました。私事ですが、この期間で2人の娘の父となり、親として子を育てることの喜びと大変さを身に染みて感じるとともに、教師としてこれまで保護者の皆様が大切に育ててこられたお子様をお預かりし更なる成長を支援していくことの責任の大きさを実感しました。そのような責任や人としてこう育てほしいという願いをもって授業や行事など共に活動して行く中で、附属札幌中学校の生徒たちはこちらの思いを越えて、本当に素晴らしい姿を見せてくれました。特に、今年度の藤華祭の盛り上がり、そして卒業式での式歌合唱は、私の教員人生の中でこれからも色褪せることなく記憶に残り続けることでしょう。思いを伝え、信じ、これらの活動を生徒たちに託してよかったなど、心の底から思っています。

だからこそ、この附属札幌中学校を去らねばならないことはとても名残惜しいですが、この出会いと経験をいただけたことに感謝し、お子様の益々の御活躍と保護者の皆様の御多幸をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

#### ゲッツ 秀子 講師

ようやく春らしい香りがするこの頃ですが、あいの里では雪が降る日がもうすこしありそうです。そのあいの里に通い附中生と楽しい毎日を過ごしたのが、今までの私の人生の三分の一にあたります。今思うと本当に楽しい毎日でした。二年生のキャンプで百二十人分のスープを作ったことなどたくさん思い出があります。私たちは新しいことに向うとき、時として今までの自分を支えてくれたことに別れを告げなければいけないことがあります。今の私はそんな立ち場にあります。でも、今までここ附中で一緒に時を重ねて来たあなたたち、生徒の笑顔、楽しかった会話が私にはずっと心の底に残っています。それをこれからの支えにして毎日を送っていきます。保養者の皆様、生徒の皆さんお世話になりました。本当に有難うございました。

#### 小林 和久 講師

「自習するように学び続ける」、「個の学びを支えるのが4人1組の座席」、毎時間のように言い続けた言葉です。他教科とは違う授業スタイルと、難しい「ジャンプ課題」に戸惑っていた表情が、後期になると、大きく変わりましたね。授業が始まると、静かに、粘り強く課題に取り組む姿が見られるように…。たとえ課題解決できなくとも、その過程で多くの知識や考え方を獲得できたはず。とくにオセアニア州の大問にも苦労していましたね。授業者としては、まさに「してやったり...!」の心境。皆さんの学びに向かう姿から私自身にとっても多くの学びがあり、楽しく心地よい時間を共有できたことに感謝です。これからは見届けることができないのはとても残念ですが、学びの面白さを追究してほしいと思います。応援していますよ!!

#### 土井 知也 講師

附属札幌中学校の保護者の皆様、1年間お世話になりました。時間講師という限られた関わりでしたが、2・3年生は理科の授業を担当し、生徒と関わる時間も多く、楽しい時間を過ごすことができました。3年生は難しい問題にも一生懸命取り組み、2年生は毎回元気に授業を受けてくれた印象が強いです。2年生は来年これまでよりも粘り強く、勉強や学校生活の取り組みに臨むことを期待しています。改めて、1年間ありがとうございました。最後に、附属中の教員は熱心に教科指導、生徒指導を行う方が多いです。今後とも、学校教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 横田 尚也 講師

昨年度よりふじのめ学級で非常勤講師として勤務させていただいておりましたが、4月から北海道の高校教員として採用が決まったため、附属札幌中学校を離任することとなりました。在任期間中、保護者の皆様には温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。至らぬ点多々あったかと存じますが、子どもたちの成長を間近で見守ることができて幸せでした。また、私としても様々な経験を通して成長させていただいた2年間でした。附属札幌中学校で学んだことを新たな学校でも活かしていきたいと思っております。札幌から遠く離れた場所からではありますが、今後とも附属札幌中学校の更なる発展と、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 芦田 燎 講師

多くの生徒の皆さんと関わらせていただいた附属中学校を、この度離任することとなりました。ふじのめ学級の非常勤講師として日々の学校生活に携わる中で、個性を輝かせながら成長していく生徒の皆さんの姿に触れ、これ以上ない喜びとやりがいを感じる毎日でした。行事や授業を通して、学校全体の活気ある雰囲気を肌で感じられたことも、私にとってかけがえのない経験です。至らない点多々あったかと存じますが、保護者の皆様からの温かいご理解とご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。最後になりますが、生徒の皆さんの健やかな成長と、附属中学校のますますのご発展をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

### 木下 知紀 講師

このたび、年度末をもちまして離任することとなりました。在任中は、保護者の皆様より温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。勤務の中で、子どもたちと関わる貴重な機会をいただき、多くのことを学ばせていただきました。日々の成長や頑張る姿に接し、私自身も励まされてまいりました。このような充実した時間を過ごすことができましたのも、保護者の皆様のお支えがあってこそと、深く感謝しております。お子さまたちのこれからの健やかな成長と、保護者の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

### 大坂 紘子 特別支援教育相談員

この度、相談員としての職を離れ、次の職場に異動することとなりました。これまで多くの方に支えられ、充実した日々を過ごすことができましたことを心より感謝申し上げます。日々交わされる和やかなあいさつ、仲間と真剣に学習に取り組む様子、知恵とエネルギーを結集させた藤華祭など、多くの場面で生徒のみなさんと先生方が継承し続けている学校の歴史と誇りを感じることができました。これからも生徒のみなさんがこころ豊かに成長し、笑顔あふれる学校生活が続くよう、遠くより願っております。

### 高橋 里美 校務補

ふじのめ学級で5年間、事務補佐として勤務させていただきました。ふじのめ学級が主であり、附属中学校の保護者の皆様とは直接お話する機会はありませんでしたが、お子様たちの学校生活を支える一員として、附属中学校の一員として関わられたことを心より感謝いたします。附属中での時間は、私にとってかけがえのないものとなりました。皆様とお子様の、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

## 諸活動の結果・表彰

コンクールや大会の入賞・入選した皆さんの栄誉を讃え、ご紹介いたします。

入賞・入選した皆さんおめでとうございます！

大会・コンテスト・コンクール名	賞	学級	生徒氏名	題名
第53回中学生作文コンクール (北海道放送)	特選 北洋銀行賞	1C	山本 彩花	電気が存在しない世界

## ■PTA 父親委員会の活動から

学校だより第12号で、2月21日(土)に行われた父親委員会の皆様による校舎環境整備活動について紹介させていただきました。5月17日(土)の小・中・ふ合同の「附属花プロジェクト」や藤華祭での校歌合唱、11月のペンキ塗り、そして研究大会や各行事での駐車場整備、部活動への御参加など、父親委員会の皆様には多くの場面でお世話になりました。心から感謝申し上げます。今号では、父親委員長の大平栄一様からいただいた御感想を紹介させていただきます。

### PTA 父親委員会活動を終えて

#### PTA 父親委員長 大平 栄一

今年度の父親委員会では、子どもたちがより充実した学校生活を送れるよう、環境整備と直接交流の両面から全力でサポートしてまいりました。

5月の「附属花プロジェクト」に始まり、後半期は「校舎環境整備」に注力いたしました。11月の校舎環境整備では廊下のペンキ塗りを行い校内を一新し、2月の校舎環境整備では3年生の各教室を丁寧に塗装いたしました。

また、行事の際には駐車場整理にあたり、生徒の安全な活動を影で支えました。父親と先生方が力を合わせて作業し、目に見えて綺麗になった校舎を眺める達成感は、本活動ならではの醍醐味です。



交流事業では、藤華祭での合唱でステージに立ち、全力の歌声を届けました。さらに部活動交流戦では、運動部を中心に父親VS生徒の白熱した全力対決を繰り広げました。共に汗を流し、真剣な眼差しで挑む子どもたちの成長を間近で体感できたことは、何よりの喜びです。

活動を支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。父親委員会は、父親同士の繋がりを楽しみながら、子どもたちの背中を後押しできる貴重な場です。来年度も、多くの新しい仲間のご参加を心よりお待ちしております。

## <新年度当初の主な予定(4月)>

8	水	新任式・始業式
9	木	第81回入学式
10	金	1年・学級開き、給食清掃要領/3年・学年集会(学年開き)/1年・学年集会(学年開き)
13	月	委員・専門局員選出
14	火	学級写真撮影+学級目標決め学活/【職員会議】簡易清掃
15	水	委員会・専門局会①(三役決め)/【研究日】簡易清掃
17	金	尿検査1次/授業参観、学級・学年PTA懇談会
20	月	放)承認式リハ
21	火	合同体位測定オリエンテーション/前期役員委員承認式/委員会・専門局会②
22	水	合同体位測定(ジャージ登校)/3年全国学調児童生徒質問紙調査/3年全国学調・英語 CBT 【研究日】簡易清掃
23	木	全国学力・学習状況調査(国語・数学)/教育相談①+色覚検査
24	金	朝)斡旋教材販売日/教育相談②+色覚検査
25	土	午前)PTA 総会・ふじづる総会/PTA学年委員会/PTA常務委員会/PTA・ふじづる合同役員会①
27	月	委員会・専門局会③/教育相談③
28	火	【研究日】簡易清掃
29	水	昭和の日
30	木	歯科検診

## <4月8日(水)の予定>

新年度は4月8日(水)から始まります。登校したら、外靴を持参の靴袋に入れて1・2年時の教室に移動し、待機してください。(下駄箱に外靴を置かないでください)

当日は、上靴・給食袋を忘れないように気を付けてください。また、新しい教科書が配付されますので、それらを持ち帰ることができるカバン等の準備を忘れずをお願いします。

	新2年生	新3年生
8:35~ 8:45	朝学活(旧学級教室へ入ってください)	
8:50~ 9:20	清掃・片付け	
9:25~10:40	体育館移動、歌唱練習、新任式、始業式	
10:50~11:05	旧学級学活	
11:25~12:15	新学級学活	
12:25~12:50	給食	
12:50~13:05	片付け、昼休み	
13:05~13:40	入学式総練習	
13:40~14:00	下校 麻生(優)14:00 栄町(路)14:08	休憩時間
14:00~15:20		会場設営
15:20~15:30		下校 麻生(優)15:40 栄町(路)15:45